

令和 7 年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 8 年 4 月 27 日

団体所在地 広島県庄原市西本町二丁目 8 番 11 号

団体の名称 一般社団法人 里山こども未来会議
タンネの森保育所

職・氏名 所長 松下 和代

1 活動報告

【4 月～6 月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・春の散策を楽しむ
- ・野菜の苗植え
- ・小動物の飼育
- ・水たまり遊び

【7 月～9 月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・雨の日の散歩
- ・砂場遊び
- ・水遊び
- ・夏野菜の収穫

【10 月～12 月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・山遊び
- ・りんご狩り (2 歳児のみ)
- ・芋ほり
- ・焼いも会

【1 月～3 月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・雪遊び
- ・山遊び
- ・春の探索

【4月～6月】

（写真）



（エピソード記述）

天気の良い日には、保育所裏にある空き地へ毎日のように遊びに行く子ども達。

雨上がりの田んぼに、水たまりを発見。大喜びで水たまりに近づき躊躇なく足を入れる子もいれば、手にした棒で確かめるように水たまりをつついてみる子ども、汚れる事を嫌がり少し離れた所から友達の様子を見ている子どももいる。ふいに泥水が散って困惑している友達に気付いた子どもが、近くにあったスイバの葉で泥水を拭きとってあげる姿も見られた。

雨上がりの度に、あちらこちらで水たまりを見つけては遊んだ経験は、汚れる事や濡れることへの抵抗を薄れさせていく。バチャバチャと水たまりを踏み、水や泥の感触や感覚を楽しむ他、釣りごっこ、石落とし、葉や花を浮かべたりなどそれぞれが思いつくままに水たまりの楽しみ方を味わった。

【7月～9月】

（写真）



（エピソード記述）

「トマト赤くなってきたよ」「こ～んなに大きいきゅうりが出来とったよ」「そろそろ食べられるかね？」プランターで育てている野菜の生長を楽しみに、日々水やりや観察をしていた2歳児。夏野菜の収穫時期には、キュウリやトマト、ナス等、自分たちで育てた野菜の採り頃を毎日のように観察した。

収穫した夏野菜を使って、餃子の皮にトッピングしたピザ作りでは、こんがり焼けたピザに子ども達も笑みがこぼれた。普段野菜が苦手な子どもも、「美味しい！」「まだ食べたい！」と大絶賛。その後、家でも「今まで食べなかったトマトが食べられるようになりました」と嬉しい報告もあった。給食でも「これこの前食べたよね！」と自分から口に運び、苦手だった野菜を克服した姿が見られた。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

自然保育推奨アドバイザー 森のようちえん 豆とっこ代表石井千穂先生を招き、「タンネのお山」で保護者参加の保育を行った。

現地では、保育所で育てたサツマイモで焼き芋を行い、親子で山遊びを楽しんだ後、保護者向けに「自然体験が子どもにもたらすもの」の講話をいただいた。自然保育を通しご自身が大切にしておられる子どもの見守り方、関わり方等のお話を聞かせていただいた。後日保護者から「規制の言葉を使わないように気を付けていきたい」「休日は戸外へ出かけていきたいと思う」「今ある環境（お山等）が改めて素敵な環境なのだった」となどの感想があり、自然体験が子ども達の心と体を解放し伸び伸びと成長させることを改めて学んだ。保育士自身も講師の話を通して、自己の保育を見直すきっかけとなり学びが多い一日となった。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

雪がたくさん降り積もり、保育所裏の空き地は一面真っ白な雪景色に。待ちに待った積雪に、ワクワクとしながら田んぼへと向かった子ども達は、早速フカフカの雪の上を歩いたり、寝転んでみたりと新雪を楽しんだ。途中で手袋が外れると、素手で雪を触り、雪の冷たさに驚きつつも、雪の感触を直接に感じることも楽しく嬉しい様子。つられて、他の子どもも手袋を外し、素手で雪を触っていた。

日に日に雪は溶け、氷のように固まっていくこともまた、子ども達には面白いようだ。地面に張り付いた雪剥がしや、ツルツルの雪の上を滑ったり、氷でごちそうを作ったりなど雪の変化に合わせて、子ども達の遊び方も変化していった。素材の変化に順応して、遊びを展開させていく子ども達の姿に驚かされる。

雪が消えてなくなるまで毎日雪遊びを楽しんだ。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について
 - ① 認証団体主催の研修会及び、任意の公開保育や自然保育研修会への参加
 - ② アドバイザー石井先生を招いての公開保育や職員研修の実施
 - ③ 自然活動の中で子どもたちに育まれたものをポイントにしたレポート研修
- ・ 地域との関わりについて
 - ① 保育所の近隣の田んぼの跡地や山を地権者に借り入れて、子どもたちの遊び場として活用
 - ② 地域の方の畑で玉ねぎの収穫に参加させてもらう
- ・ 保護者との関わりについて
 - ① 参観日を利用して山の遊び場や田んぼの跡地、街中を散策して自然と触れ合う活動の展開
 - ② プランターに植えた野菜を身近な場所に置き、送迎時親子で観察し、収穫物を持ち帰り家庭で一緒に食べてもらうなど、関心をもってもらう
 - ③ 自然活動のリスク理解と、身の回りの準備等の協力依頼
- ・ その他

*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

URL	
-----	--